

泉友会
85th
Anniversary

Home Coming Day

～泉友会のつどい～
開催いたしました！

たくさんの
ご参加
ありがとうございました！

第1部 総会のご報告はP3を
ごらんください！

泉友会の設立85周年を祝し、

令和6年6月29日（土）に総会と祝賀会の2部構成で開催されました。

祝賀会では思い出を振り返る催しや展示物に囲まれながら、
多くの卒業生と先生方が世代を超えて親睦を深めました。

きくりん

キク坊



思い出話に花が咲きます



続々とご来場



盛大に鏡開き



先生を囲んで談笑

9回生から85回生まで大集合！



ビンゴ！？



38回生上野さんのテノール独唱



46・47回生の合奏



85回生 集まって～！



お手伝い ありがとう！

ごあいさつ

泉友会 会長 岡 正博



会員の皆さま、学校関係者の皆さま、在校生ならびに保護者の皆さま、平素より泉友会の活動にご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。

昨年の総会では前期活動報告、前期会計報告のご承認、当期活動計画案、当期予算案のご承認、役員改選案のご承認を頂きました。これからも泉友会役員一同頑張っ

て参りますので皆さまの更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年度の富浦臨海では寮と浜の物品搬送をお手伝いしてきました。OBOGの活動において物品の増加に伴い負担が増えてきているので対策を検討し、改善策を講じることになりました。今年は80回生が

OBOGとして臨海に参加できるようになります。是非とも多くの方にご参加いただきたいと願っております。

昨年の幹事会では連絡先不明会員の搜索に力を入れることにし、幹事さんに不明者の搜索協力をお願いしました。少しずつですが情報が寄せられています。連絡先不明者リストにお名前のある方の連絡先をご存じの方は泉友会にお知らせください。

コロナで中断していた同窓会も活発に開催されるようになっていきます。是非、クラス会や同期会を開いて同窓会活動を活発化させてください。泉友会では同窓会活動を支援いたします。

着任のご挨拶

学校長 青山 直志



このたび、杉森伸吉先生の後任として、校長を拝命いたしました。私は、都内公立小学校長を3校12年務めて参りました。また、客員教授として、東京学芸大学の経営協議会に参画し、これまで附属大泉小学校を外側から見つめて参りました。これからは、常勤の学校長として、これまで培ってきたものを余すことなく発揮し、本校の更なる発展のために力を尽くして参りたいと存じます。

さて、今から20年以上も前のことですが、私は在外教育施設である香港日本学校大埔校に赴任していました。英名はJ.I.S.(Japanese International School)つまり、地元の香港は勿論、イギリス、カナダ、オーストラリア等にルーツをもつ子供たちも多く在籍していました。そのような経験も、国際理解教育の推進、ひいてはIB校としてPYPを推進する一助になればと考えています。

退任のご挨拶

前学校長 杉森 伸吉



2018(平成30)年の4月に本校の第21代目の校長に着任し、2025(令和7)年の3月末まで3期半、7年間にわたる校長職を勤めさせていただきました。2年目末からはコロナ禍にも見舞われ、他方で国際バカロレアのPYPワールドスクールの国立附属小初めの認定、いじめ問題など大変なことも多々ありましたが、大学にいただけでは知ることができない、泉友会、歴代教職員、保護者、菊の子たちの素晴らしいさを知ることができましたことは、人生におけるかけがえのない宝物

です。変わってしまうこと、変わらないこと、変えてはいけないこと、変えないといけないこと、などについても本校の良さを見極めながら考え、受け継がれてきた本校の良さのバトンを次の青山校長につなぐことができたのではないかと考えております。本校の素晴らしい伝統は、創立の翌年が第二次世界大戦であったことから、「人間には何が大切なのか」を見極められた初期教職員や菊の子たちの賜物と感じております。7年間ありがとうございました。

「菊の園」の近況について

副校長 細井 宏一



泉友会の皆様には、様々な面で「菊の園」にご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

本校は2022年8月に、国立大学附属小学校としては全国初の国際バカロレア(IB)ワールドスクールPYP認定校になりました。PYPとはIBの初等教育課程のプログラム(Primarily Years Programme)のことで、探究単元(UOI)で「教科の枠をこえた探究の学び」を重視しています。児童は探究の学習が大好きで、意欲的に取り組む姿が見られています。PYPと学習指導要領のよいところ取りをした新しい教育課程を開発していきます。

また、時代に合わせて校則の見直しなどの改革をし

つつ、大切にしてきた生活団活動や行事の取組は復活もしてきています。今年の臨海学校はすべて3泊4日で行い、6年生では大遠泳も行うことができました。ここでは泉友会の大学生や社会人の方を中心に熱いサポートをいただき、感謝申し上げます。

「改革は大事だが、根無し草にならないように」

これは、元学校長であった東京学芸大学名誉教授の故 児島邦宏先生のお言葉です。大泉小の教育の本質は何なのかを見据えて改革に取り組みたいと考えます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

クラス会・同期会

今年もたくさんの開催ご報告をいただきました♪

23回生 「菊藤会」

23回生 清水(久礼)千里

※(旧姓)



2025年3月8日に我々23回生は「菊藤会」を開催しました。コロナ前の2019年に開催して以来、久しぶりに22名が集うことができました。窓から東京駅の駅舎を一望できるフレンチレストランで美味しいお食事、歓談が進む中、気分が徐々に盛り上がりました。時間が経つにつれ、昔の顔が思い出され、和やかな笑顔があちこちで見られ、いくつになっても気軽に話せる友がいるということは幸せな事だとつくづく感じさせられるひとこまでした。

後期高齢者になった我々ですが、「前向きな気持ちで毎日を過ごしていきましょう」という声掛けに大きな拍手があげられました。そして、若者に負けず、出席者に声掛けをして、LINEのグループメンバーを拡大し、お互いの近況も伝え合える場を増やしました。日常的に身近に感じる友達を大切にしたいなと思った一日でした。

30回生 ゆり組クラス会

幹事:入子・野々宮

去る2024(令和6)年12月7日(土)、2019年以来コロナ禍で延期していたクラス会を開催しました。今回は恩師酒井繁典先生の発案で母校訪問と懇親会の2本立てで行なう事とし、泉友会会長の岡さんを通じて母校に了解を取り訪問しました。訪問は9名(当日不参加1名)で、15時過ぎに山下・小林両先生の送迎を受け、校舎内外を自由に見学させていただきました。校舎は6年生の時の30周年(兼校舎落成)記念式典当時とほとんど変わらず、懐かしい気持ちで当時のエピソードを話しながら巡りました。

その後建て増しされた部分(特別教室棟・体育館等)や生徒玄関などの変更箇所を確かめたり、富浦臨海に思いを馳せながらプールを見下ろしたり、約1時間半はあっという間でした。職員玄関前と南庭花壇でも記念に写真を撮りました。

母校を辞してから懇親会場(大泉学園駅南口ゆめりあフエンテ「梅の花」)までの通学路の変貌ぶり(当時はほとんど畑で未舗装等)も話題にしながら歩きました。懇親会からの参加も加えて12名が集まり、まずはこれまでに逝去した4名と5月に亡くなった長谷川順義先生(3-4年次担任)に献杯、酒井先生への動画撮影兼近況報告の後には昔話に花を咲かせ、末永君の案内による「予祝」なども行なって盛り上がりしました。



36回生 同期会

幹事：岡 正博

2025年4月20日(日)に東武バンケットホールで36回生の同期会を6年半ぶりに開催しました。2023年から約2年間の準備期間を経て当日を迎えました。

準備期間の中で卒業時の恩師である長谷川順義先生、清水明朗先生の弔事もありましたが、大野晏且先生、小川吉宥先生のご出席賜ることが出来ました。

近年はSNSの発達により普段会ってなくても毎日会っているような気がします、実際に顔を合わせた会話は別格です。卒業50周年ですが、小学生時代に戻り当時のニックネームが飛び交い会話が盛り上がっていました。今までの同期会とは違い会話を楽しむことを目的としたことも良かったようで、じっくりとお話することができました。大野先生とバーベキューをしようという話も出て日程調整することになりました。



57回生 きく組クラス会

幹事：森川(栗原)朱香、高橋(原島)麻実、岡田(坂本)沙里

※(旧姓)

57回生の6年きく組では、20歳を過ぎた頃から数年に一度、当時の恩師である橋本忠明先生を囲み同窓会を行っており、今年度は41歳を迎え11回目となりました。最初は少人数での開催でしたが、回を重ねるごとに規模も大きくなり、今では年末年始の恒例イベントとなっています。

頻度が高いようにも思えますが、海外赴任や遠方への転居、出産や子育て等で家庭環境に変化が多い年代でもあるため、毎回顔ぶれも異なり、開催のたびに新たな再会の喜びがあります。



2025年1月

コロナ禍が明け数年ぶりに開催できたクラス会では、秋田から飛行機で日帰り参加してくれた人や、夜勤前など仕事の合間に駆けつけて来てくれた人がいたり、約5年半ぶりにイギリスより帰国したクラスメイトとの再会もありました。

それぞれに忙しく過ごしていてもお互いに今会いたいと思えること、会いたい人に会えること、会って笑いながら楽しく食事を囲めることに、改めて幸せを感じます。また、卒業から何年経っても私たちに会いに来てくださる橋本先生には感謝の気持ちでいっぱいです。



2024年3月
ケーキで40歳をお祝い

クラス会・同期会

77回生 ふじ組クラス会

幹事:大澤 葵

2024年1月6日(土)、東京学芸大学附属大泉小学校77回生6年ふじ組同窓会を開催しました。本同窓会は、同年1月8日に多くの地域で成人の日のつどいが開催されるのに合わせて企画され、6ふじを担当されていた田代勝先生、国外からビデオ通話で参加された方、在籍はゆり組だったがふじ組と一緒に授業を受けていた方も含め、29人もの方々にお集まりいただきました。

会の前半は菊の園の校舎に集まり、オペレッタ鑑賞と校内巡りを行いました。オペレッタのDVDは6ふじの教室のテレビで再生し、懐かしい演技や歌、ダンスを見ながら大いに盛り上がりしました。

校内巡りでは、校舎の端から端まで散策し、各教室での思い出に浸りました。



会の後半では大泉学園駅北口にある「てしごとや ふくの鳥」に場所を移し、お食事とお酒を頂きました。先生と一緒にお酒を飲める年齢になり、自らの成長と時間の経過を実感しました。各々の卒業後の経歴を聞いたり在学時の裏話に驚いたりしながら、8年前と変わらない元6ふじの雰囲気を楽しみました。ぜひまた数年後に集まりましょう。



78回生 きく組クラス会

幹事:根津 更

2025年3月15日、78回生きく組のクラス会を行いました。かねてよりのリクエストに応え、成人式を機に企画いたしました。20名の参加に加え、元担任の菊地先生にも御出席いただき、二十歳の節目を祝福していただくことができました。

菊地先生を交え、皆が慣れ親しんだ大泉学園で8年ぶりの再会となりました。自己紹介と近況を一人一人発表したあとは、小学校のころの思い出話をはじめ、8年分の積もる話やこれからの目標や志について、話に花を咲かせました。



当時小学生だった私たちがお酒を飲める年齢になり、菊地先生とともにお酒を飲み交わすことができました。なったことがとても新鮮で感慨深いものがありました。

残念ながら旅行や留学などで参加できなかった人もいましたが、今回のクラス会をきっかけにまた気軽に集まることができれば大変うれしく思います。

きんまり

「開校を祝う会」卒業生からのお話

2024年11月9日



あらい たかゆき
新井 貴之さん (47回生 / 1986年卒)

プロフィール

早稲田大学法学部卒業後、(株)オリエンタルランド入社。以来、パークの様々な開発に携わる。最近では4年間担当した東京ディズニーシー新エリア「ファンタジースプリングス」が2024年6月に開業。大学生の娘・息子のお父さん。

講演について

小・中学校を大泉で過ごし大学の附属高に進学した新井さんは、高校1年のとき、自らを奮い立たせるため、“司法試験現役合格”という大きな目標を立てました。多い日は1日17時間も勉強をするほど猛勉強をしていたそうです。大学3年のときにラジオ番組でディズニーランドを日本に誘致した男性のお話を聴きました。富士山麓のライバル会社に競り勝った大逆転のプレゼンの話に夢中になり、録音したテープを聴き返すうち、その男性が最後に語った「ディズニーランドに人生賭けちゃったよ。あれがダメだったら人生大空振りだった」という言葉が気になるようになります。1ヶ月考えた末、資格のためだけに勉強をしてきたことに気づき、仕事として、“後世に残る街づくりに人生を賭けること”を決断します。



▲家庭学習に熱心になった、菊の子時代の社会科のノート。4冊をガムテープでまとめた新井さんの宝物。



▲講演の様子

司法試験の勉強から就職活動へと切り替える中、オリエンタルランドの会社説明会に参加した際、TDLの成功に止まらず、第2パークを含む一大リゾート計画があることを知り、挑戦を続ける姿勢に魅了され、入社を決めます。

ラジオを聴いてから30年が経ち、自らの人生の答え合わせをする新井さん。TDS開業事業に従事した後、オペレッタ以来趣味となっていたミュージカル鑑賞での造詣の深さを買われ、ショープロデューサーとして10年間パレードなど90もの作品を世に送り出しました。2024年6月に開業した新エリアでは、大学生の息子さんが3Dメガネの奥で涙する姿に、かつて“自分の孫に「おじいちゃんはこのを作ったんだよ」と言える仕事をしたい”と思っていた目標が徐々に叶えられていると実感したそうです。大きなプロジェクトの困難や重圧を乗り越える原動力となったのは「達成感」。これは小学校6年間の多くの行事で培われたと語ります。講演の最後は「全力で行事に取り組み、思いっきり楽しんでください」と子ども達へエールを送られました。

また、講演の後には校庭で1日を過ごされました。秋の穏やかな陽射しの中で、39年ぶりに食べるきくの子汁は格別だったようです。



▲講演後、子どもたちと一緒に、きくの子汁作りや風船上げにも参加されました。「まさかきくの子汁をまた食べられるなんて」と喜びもひとしおの様子でした。



小学校33回生&中学校26期生・合同同期会

幹事:鳥谷 規

3月23日(日)に池袋で開催した東京学芸大学附属大泉小学校33回生&中学校26期生・合同同期会には32人が集まりました。

参加者の内訳は、附小出身の方がきく・うめ・ふじ・ゆりの4組合計で20人、附中から入った方は12人でした。小学校卒業後他の中学に行った方もふたり参加されました。

ここ数年間で亡くなった数人の友人のために、乾杯ではなく、献杯で会が始まり、皆が近況をシェアしました。

今回はほぼ全員が65歳を迎え、大きな意味で生活も転換期を迎えた参加者一同でしたが、誰からともなく当時のあだ名で呼び合い、旧友再会を笑顔で楽しみました。



大泉小の今と昔

いま

むかし

岩石園



正門入ってすぐ右手に現れる庭園。
昭和46年(1971年)に創立30周年
記念事業として設置されました。

1993(平成5)年頃



大きな台風の影響や、老朽化による伐採により、今はちょっとスッキリした見た目になっています。

2025(令和7)年現在



児童玄関

岩石園を横目にして進むと
すぐそこにあった児童玄関。
現在は中庭を通して進んだ先の
渡り廊下手前に移設されました。

2025(令和7)年現在



中庭に移設された児童玄関

2025(令和7)年現在



正面から校舎内への出入りはできなくなり、
現在は「総合福祉室」と呼ばれる、PTA 活動等
を行う多目的な部屋として使用されています。

教室内の風景

OHP(オーバーヘッドプロジェクタ)を
使用し、透明素材のOHPシートを
大きなスクリーンに投影して発表などを
していました。

1993(平成5)年頃



2025(令和7)年現在



1人1台タブレットを持ち、自分でまとめた内容をデ
ータ転送し教室の巨大テレビに映して共有します。タブ
レット上で文字での活発な意見交換も行われます。

オープンスペース

床はカーペットのような素材で
ゆっくりくつろげる空間。滑らず
直に座っても冷たくなく、皆で
囲らねるような教室でした。

1993(平成5)年頃

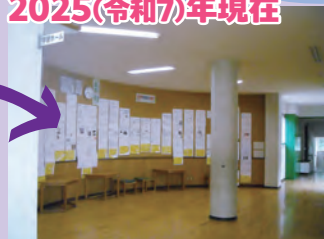


2025(令和7)年現在



安全面を考慮し段差が
なくなり、フローリング
仕様となりました。

2025(令和7)年現在



今は壁全体を使い、子どもたちの図工や
理科の作品、書初めの代表作品など、その
時々に応じ様々なものを展示しています。

学習ホール

北校舎と南校舎を繋ぐ2階の通路。
かつては、様々な書籍や学習用の
テーブルと椅子が並び、その名の
通り“学習をするための場所”で
した。

1993(平成5)年頃



菊まつり運動会

昭和45年(1970年)頃は、現在の
「菊まつり」と「運動会」を同時に行い、
運動会の後に風船上げをし開校を
祝っていました。

1970(昭和45)年頃



せんゆうかい 泉友会とは

「大泉」の「友」の「会」と並べて表記する「泉友会」は、大泉小の同窓生(卒業生と在校生)から構成される会です。第1回生～第86回生(今年3月の卒業生)まで、2025年3月現在、在籍会員数は計10,394人となりました。なお、昨年度の規約改定により、現在は小学校卒業時ではなく、入学時から会員になることができます。

「泉友会」は、在校生の保護者からなる学校後援会の「菊泉会(きくせんかい)」と名前が似ているため、時々混合されることがありますが、先述の通り、構成メンバーや活動目的は全く異なります。

「泉友会」は卒業後も“元菊の子”たちがずっと繋がりが続けられる居場所であり、また、富浦臨海活動のOBOGスタッフ派遣、学校運営にかかわるその他の援助などを通し、大泉小のよりよい環境作りを幅広くサポートする頼もしい存在でありたいと願っています。ぜひこの機会に覚えていただけたら嬉しいです!

なお、皆様からの寄付金や寄贈品、お知恵やご意見のお陰で「泉友会」の運営が成り立っておりますこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。引き続き、ご理解とご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。



富浦臨海に引率し、先生方と打ち合わせをするOBOG



寄贈品「発泡材のひな壇」
きくまつのやぐらや
オペレッタの合唱隊の台
としても使用されています



2024年9月7日に行われた幹事会

79回生 成人 おめでとう

79回生の皆さん

元6年うめ組担任 石毛隆史

もうハタチですか…。卒業してから、そんなに時間が経つんですね。早いものですね。6年生の時にはすでにしっかりとしていた皆さんが、より成長している姿を想像すると、お会いしてみたいなと思います。とても立派に成長されているのでしょうね。

大人になると、今までとは異なり思い通りにいかないこともたくさんあると思いますが、視点を変えてみるとポジティブに見ることがたくさんあります。ぜひ、何事も前向きにとらえて人生を楽しんでいてください。思い出したときには、ぜひ、学校に顔を見せてくれると嬉しいです。

今後の皆さんの人生に幸あれ!! 今後も皆さんの笑顔の花が咲き続けますように♪

元きく組担任 松井直樹

79回生の皆さん、ハタチの成人、おめでとうございます。先生にとって附属大泉小学校では、はじめての5・6年担当でした。附属大泉小の高学年は生活団やブロック、委員会、クラブなどでより重要なリーダーシップを求められます。そこで、特に6年生では「君が笑ってくれるなら」を目指すゴールにして頑張りましたね。

また、学年としても、学校行事だけでなく、毎日の一つ一つの出来事が懐かしい思い出になっています。

「笑顔のキセキ」は簡単に起こるものではないかもしれませんが、笑顔になれない日々の方が長く続くかもしれないこれからの人生ですが、ちょっと微笑んで、ちょっと声に出して笑ってみると何かが変わるかもしれません。それを信じてともに頑張っていきましょう。応援しています。



元ゆり組担任 神保勇児

二十歳の成人を迎える79回生のみなさん、おめでとうございます!

担任として過ごした日々が、まるで昨日のことにように思い出されます。あの運動会で、みんなが一つになって歌った学年の歌。大きな輪になって歌い上げた最後の瞬間、皆さんの笑顔であふれていたのを昨日のことに覚えています。

オペレッタの本番前、緊張した面持ちで輪になって気持ちを一つにした時もありましたね。練習中は色々大変だったけど、みんなで励まし合って、最高の舞台を作りましたね。

皆さんは本当に優しい子ばかりで、教室には笑顔が絶えませんでした。休み時間に楽しい話をしてくれたこと。あの何気ない日常が、私の宝物です。

これからの人生、きっと素晴らしいものになると信じています。いつまでも応援しています!

卒業20周年に際して

6年時学年主任 横尾康幸

これまで多くの卒業生を出してきましたが、菊の子の一番の特徴は小学校時代のことをよく覚えているということです。富浦臨海生活をはじめ、菊作り、オペレッタと、確かに「一般の小学校」ではなかなか経験できない行事が多くありましたね。これらの行事はどれも「大変なことでも仲間と協力すれば乗り越えられる」「頑張った先には達成感や充実感が待っている」という気持ちを皆さんの中に育ててくれたのではないのでしょうか。それ故よく覚えているのではないかと私は思っています。

皆さんは、今、きっと社会でも家庭でもまさに忙しさの真最中だと思います。菊の園で培った力をいかして、自分らしく頑張っていってくださることを心より願っています。

卒業
20周年
66回生



「親睦ゴルフ会」を開催しました！

泉友会の親睦ゴルフ会が2024年11月23日(土)に、西武園ゴルフ場で開催されました。新型コロナウイルスの影響により5年振りの開催となり、24回生から71回生の総勢12名が集いました。参加者全員が楽しめるよう初心者にも優しい泉友会特別ルールを適用し、強風が吹く厳しい条件の中でも、和気あいあいとゴルフを楽しみました。プレー後はコンペルームをお借りして表彰式と懇親会を行いました。ペリア方式でハンディキャップを算出し、優勝は33回生の伊藤真弓さん、準優勝は66回生の葛西寛子さんと、女性お二人がネットスコア60台の好成績を収めました。その後、大泉学園に場所を移した二次会も盛会で、親睦を深める素晴らしい機会となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

今年も11月23日(日・祝)に開催する予定ですので、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。参加申込みは各種届のgoogleフォームまたは郵便で返信、メールで受け付けます。先着16名様とさせていただきます。



幹事会報告



2024年9月7日(土)に附属小学校のランチルームをお借りして全体幹事会を開催しました。会の冒頭では細井副校長先生から国際バカロレアの説明、泉友会の活動のお陰で学校行事が円滑に進んでいることや寄贈品を大切に使用するという言葉を頂戴しました。今回の議事の中では連絡先不明者の検索が最重要課題でした。各年代の幹事さんに不明者リストを送付し、調査を依頼しました。回答期限までに100人ほどの情報が寄せられました。このようなご協力が会の継続には欠かせないと実感しました。これからもご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、幹事会の日程を見直しました。夏の猛暑が続く9月は参加人数も増えないことから12月の菊の子展覧会最終日に開催することになり、2025年からは12月第1土曜日(本年は12月6日)に変更する事にしました。

発泡材のお立ち台21台を寄贈しました

写真のお立ち台は発泡材でできていますので非常に軽いです。これまでは木製のお立ち台を使っていた。小学校5、6年生が運ぶには40キロもあるお立ち台は大変重く、運ぶのが大変そうでした。オリンピックや国体などでも使われている発泡材のお立ち台は軽く運びやすいです。

さくまつり、音楽会、卒業式、入学式などで活躍しています。



2024年度

学校行事

2024年度の学校行事をご紹介します！



入学式



和楽会



富浦臨海



運動会



さくまつり



4年富浦移動教室



5年箱根移動教室



6年日光移動教室



音楽会・オペレッタ



卒業式

インフォメーション information

連絡先変更・ボランティア登録・イベント参加希望

- **会員名簿記載事項に変更があった場合、泉友会にお届けいただくための書式です。**
※同窓会の縦のつながりを強くするために勤務先登録にご協力ください。
- **ボランティア人材登録** 希望するボランティアに登録申請できます。
- **イベント案内希望** 興味のあるイベントを選択された方には詳細をご連絡します。
※「連絡先変更・ボランティア登録・イベント参加希望」は返信用封筒に切手を貼って返信するか、各種申請フォームで申請することも可能です。



各種申請フォーム

各種申請フォーム

Googleアカウントは不要です。
異動や変更があった場合には該当項目に入力、送信することで郵送する手間を省くことができます。
<https://forms.gle/oztKQdDcvVdzJrTn8>

会費納入のお願い

泉友会の活動である会員相互の交流や母校発展のための教育関係備品の支援などに充てるための会費ですので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 泉友会では5年に一度、年会費を集めさせて頂いております。
*「**年会費**」は5年分一括で**8,000円(1,600円/年)**
*1～34回生の方は、「**終身会費**」**16,000円**も選択できます
- 昨年4月から新たな5年間(2024年度～2028年度)に入りました。泉友会は会員の皆様からの会費で運営されています。多くの方からのご入金をお待ちしております。
- **76回生**は卒業から10年分の年会費を収めて頂いていますが、昨年度で満了しましたので、**今年度から76回生の方々も年会費を納入**していただくことになります。
- 2024年4月より、入学時または転入時の入会となりました。在校生のみなさまも入会金納入にご協力よろしく願いいたします。

振込先

郵便振替

00110-4-131668

(加入者名)東京学芸大学附属大泉小学校泉友会

※同封の取扱払込票でお振込み頂けます。

銀行振込

三井住友銀行 大泉支店 普通預金 7148285
(口座名)泉友会会費口

※振込む際は、お名前の前に**会員番号**を記入ください。

会員番号未記載の場合、振り込んだ方を特定できない場合があります。

※**会員番号**は会報送付の封筒宛名に記載しております

(会員番号が分からない場合は、生年月日を西暦でご記入ください)

※**在校生の方は、学年・クラス**をご記入ください

ホームページリニューアルを行います

2025年6月にホームページのリニューアルを検討しています。2024年秋の郵便送料大幅値上げに伴い、会報第34号から、当期および前期の年会費納入者にのみ会報を郵送し、年会費未納の方にはホームページでご覧いただくことといたしました。また幹事会のお知らせもメールを基本とし、メールが使えない方のみハガキでのお知らせに変えて参ります。年会費のお振込みにご協力くださいますようお願い申し上げます。



泉友会
ホームページ

在校生の皆さまへ!

在校生の皆さま!...2025年4月末日までに
入会金の振込みを完了された方には、7月に
入会記念品を配布するよう、準備を進めてい
ます。
楽しみにお待ちしております!

泉友会 Facebookページ

外部から閲覧できないようにしているためFacebookグループに入っている方からの招待が無いと入ることが出来ません。また管理人の承認が必要になっています。参加をご希望される方は泉友会のメールアドレス宛てに、以下の内容を記載して送信してください。

会員番号(分からない場合は生年月日)
氏名・ご自分のFacebookのURL



泉友会
Facebookページ

幹事会のお知らせ

日時：2025年12月6日(土)

受付：14時より教職員玄関内

幹事会：14時30分～16時30分

会場：附属大泉小学校2階ランチルーム

※2025年10月に幹事さん宛に案内を送付予定

※12時30分まで、菊の子展覧会が開催されます。

慶 事

祝 おめでとうございます

卒寿(満90歳) 第9回生のみなさま
米寿(満88歳) 第11回生のみなさま
傘寿(満80歳) 第19回生のみなさま

喜寿(満77歳) 第22回生のみなさま
古希(満70歳) 第29回生のみなさま

弔 事

謹んでご冥福をお祈りいたします

2024年4月23日 清水明朗先生

2024年5月15日 長谷川順義先生



Home Coming Day

～泉友会のつどい～ 開催報告：第2部 祝賀会

祝賀会には9回生から85回生までの卒業生約250名が、会場の体育館に集まりました。お世話になった先生方から6名の先生にご出席いただき、あちこちに恩師を囲む輪ができ和やかな歓談の場となりました。同級生が集まるこの機会を利用して祝賀会を初めての同窓会にした85回生、祝賀会終了後に同期会を開催した47回生は多数の参加者となりました。

開会までの時間を利用し46・47回生の皆さんによるリコーダーの合奏や、38回生の上野さんのテノール独唱により小学校で唄った思い出の歌が披露され、会場の雰囲気華やかにしてくださいました。85周年を記念して杉森校長先生よりご祝辞をいただき、泉友会の寄贈品として軽くて丈夫な発泡材製のひな壇21台の目録が岡会長から贈呈されました。華やかな鏡開きの後に、俊傑会の大野先生より乾杯のご挨拶をいただきました。

会場では美味しい軽食やデザート、ドリンク類が提供され、久しぶりに再会した同級生や先生方との会話が弾みました。会場内には歴代の卒業アルバムや富浦臨海のTシャツなどが展示され、小学生時代の懐かしい思い出に浸った参加者も多かったことでしょう。泉友会オリジナルグッズのポロシャツやTシャツ、エコバッグなどの販売も実施されました。

終盤には出席者全員参加によるビンゴゲームが行われました。高級牛肉やディズニールンドチケットなど魅力的な賞品を目の前にして、副会長の檜垣聡宏さん(61回生)が軽快なテンポで番号を読み上げるたびに、場内は歓声とため息に包まれ大いに盛り上がりしました。

終了後は、スタッフ含めて多くの方々に片付けを手伝っていただき、ありがとうございました。泉友会の85周年を祝う特別な一日は、多くの思い出と参加者の笑顔とともに幕を閉じました。

第2部：祝賀会

大野先生のご発声で乾杯！



鏡開き



泉友会グッズ



オリジナルキーホルダー、ピンバッジなどを販売！

懐かしの給食メニューも



どれも美味しそう！

豪華賞品！



ビンゴゲーム



リーチの人は前に来て～



エピソードを披露



上野さんと一緒に

喜びのひとつ



和やかに歓談



展示コーナー



歴代卒業アルバムや富浦臨海Tシャツも！



総勢約250名の方に参加いただきました！

みんなのしろう！



当日参加した泉友会役員